



各 位

平成 25 年 7 月 12 日

上 場 会 社 名 株 式 会 社 リ ソ ー 教 育
代 表 者 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 岩 佐 実 次
(コード番号：4714 東証第一部)
問 合 せ 先 責 任 者 情 報 開 示 担 当 リ ー ダ ー 澤 井 豊
情 報 開 示 担 当 リ ー ダ ー 田 中 文 明
(TEL 03-5996-3701)

平成 26 年 2 月 期（第 29 期）第 1 四半期経営成績について

平成 26 年 2 月 期（第 29 期）第 1 四半期の経営成績につきまして、お知らせいたします。

当期第 1 四半期の売上高は、過去最高の業績を更新した前期平成 25 年 2 月 期（第 28 期）をさらに上回る好調な結果となりました。具体的には、売上高は 4,037 百万円、営業利益は▲694 百万円、経常利益は▲699 百万円、四半期純利益は▲479 百万円となりました。

第 28 期・29 期と 2 年にわたり進めてきた財務基盤強化・自己資本充実策については、ドイツ銀行との T I P 契約等による自己株式処分の結果、**約 35 億円の現金化、自己株式処分差益約 9 億円の株主配当の原資となる剰余金への計上**により財務基盤の強化と自己資本の充実を図ることができました。

さらに海外市場における新株式発行及び自己株式の処分の結果、**約 45 億円の現金化、自己株式処分差益約 3 億円の計上**により一層の財務基盤強化と自己資本の充実を図ることができました。

今後は将来の事業成長を見据えたグループ統括本社新宿ビル・新宿城西本部の建設、既存事業・新規事業（伸芽's クラブ・インター TOMAS・メディック TOMAS・スクール TOMAS）の成長加速化、さらに新々事業や M&A 等を積極的に推し進める所存です。

なお、当平成 26 年 2 月 期（第 29 期）第 2 四半期は、既存事業の成長に加え、新規事業も順調に推移しており、第 2 四半期及び通期の業績につきましては、**過去最高業績の更新を見込んでおります**。

以 上